



さとやま

1月に見られるいきもの



昨年は、12月中旬頃に大きな寒波が襲来し、1月並みの気温になりました。今年の1月は、長期予報では平年並みからさらに低い気温になるとされています。冬らしい景色が広がりそうです。

上の写真は、2015年の小草池の様子です。多くの水鳥が訪れていました。最近では、2018年から始まった耐震工事のため毎冬水を抜いたので、あまり飛来はあまりありませんでした。今冬は工事が完全に終了し、水位も十分です。水鳥たちが戻ってきてくれることを期待しています。一番数が多いのは**マガモ**で、雄は頭が緑色です。次に多いのは**コガモ**です。日本にいるカモの中では一番小さく、雄は頭が栗色で、目の周りが緑色、腰に黄色い三角の班があります。この2種類は12月初めにはすでに飛来してきていました。カモ類の雌は雄に比べ地味で見分けにくいですが、雄の近くにいるのでわかります。

植物では、11・12月で紹介したもののほかに、センター前などの**クロガネモチ**や小草池向かいの私有地などで見られる**ナンテン**、足元で見つかる**ヤブコウジ**などの赤い実が見られます。

一方、黒い実がなる**ヒサカキ**の枝先には花芽がついたり、ハンノキ広場では、気の早い**タチツボスミレ**の花が咲いたり、下旬の暖かい雨の後には、田んぼエリアで**アカガエル**が産卵するなど、もう春の気配も感じられます。

こんな真冬の里を散策してみてください。



マガモ



コガモ



クロガネモチ



ナンテン



ヤブコウジ



←花芽

↑実

ヒサカキ



タチツボスミレ



アカガエル (卵塊)



冬、草原は一見枯れた草ばかりのように見えますが、よく見ると地面に張り付いて、放射状に葉を広げた植物が見られます。これは、植物の冬越しの方法で、このように葉を広げた状態を「ロゼット」と言います。

ロゼットとは、バラの花の意味で、形が似ていることから名が付けました。地面に張り付くことにより、風の当たりが少なく、太陽で暖められた地表の熱を受けやすくなります。また、太陽の光を葉の全面で受け、冬の間にも光合成で得たエネルギーを蓄え、春には新たに芽を出すものより先に成長できて有利です。

こんなロゼットの状態で里の冬を越す代表的な植物をご紹介します。

タンポポ



キク科に分類される多年草です。春になっても茎が立ち上らず1年中ロゼットの状態です。ロゼットの中心から花茎を伸ばし、その上に集合花を1つつけます。

そのため定期的に草刈りされる場所でもダメージがありません。在来種、外来種があり、在来種は春にだけ花をつけますが、外来種は気温の条件が合えば、いつでも花をつけるので、頻りに草刈りされる場所では外来種が有利です。

ノアザミ



キク科に分類される多年草です。花は 5～6月頃咲きます。茎につく、のこぎり状の葉に比べ、根生葉と呼ばれるロゼットの葉はギザギザの少ないものもあります。

コオニタビラコ



キク科に分類される越年草です。秋に種子から発芽してロゼットで冬を過ごし、3～4月に花をつけます。春の七草の「ほとけのざ」です。

スイバ

タデ科に分類される多年草です。根生葉は矢じりのような形、地上の葉は茎を抱く形でつきます。花は5～6月頃咲きます。

気温が低いと葉が赤っぽくなり、気温が上がると緑色になります。



冬の里では、他にも様々な種類のロゼットが見られます。探してみてください。

12月の行事紹介



「クリスマスを里山リースで彩ろう」の講座を12月4日(日)に開催しました。

最初に、職員講師からクリスマスリース作りのお話を聞いた後、里山を散策し杉の葉や木の実などの飾りつけの材料を採取してきました。

事前に用意したクズや飾り物などと親子で採取した材料でリースを作りました。

リースは、素敵に飾りつけができ完成、感想では材料集めもとても楽しかったようです。

1月の行事予定

15日(日)	お花炭を焼こう	20名	AM9:30~11:30	山口信夫
--------	---------	-----	--------------	------

内容 ~ 里山で採取した植物を空き缶に入れて焼き、アートや炭のオブジェ等として活用します。

29日(日)	里山で野鳥を観察しよう	20名	AM9:30~11:30	高田俊洋
--------	-------------	-----	--------------	------

内容 ~ 冬の里山で北から渡って来たカモの仲間や里山で過ごす小鳥を観察します。

2月の行事予定

18日(土)	竹炭焼きⅠ(竹きり、竹割り、窯入れ)	20名	AM9:00~11:00	神本晃・河野俊治
--------	--------------------	-----	--------------	----------

内容 ~ 里山の竹林で竹を切り、窯に入る大きさに竹を切って、丁寧に窯の奥から詰めます。

19日(日)	竹炭焼きⅡ(火入れ)	20名	AM9:00~11:00	神本晃・河野俊治
--------	------------	-----	--------------	----------

内容 ~ 窯に火を入れます。火を絶やさないう約7時間一定の温度で焼き上げます。

26日(日)	竹炭焼きⅢ(窯出し)	20名	AM9:00~11:00	神本晃・河野俊治
--------	------------	-----	--------------	----------

内容 ~ いよいよ窯出し。竹炭は、そったり、ねじれたりして自然素材ならではの面白みがあります。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が**6名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始「12/28~1/4」 ◆発行 西尾市環境部 環境保全課